

科目名	音楽療法各論 I	形態	講義	開講期	秋学期
担当教員	長江 朱夏	単位	2	年次	2

＝授業科目の目標＝

子ども期から成人の発達障害、知的障害、自閉症スペクトラムなどを中心とした障害や特性を理解し、音楽ならではの関わりや、彼らにとっての音楽活動の意義を考える。ワークショップでは、音楽療法士の関わり方のヒントやテクニックを紹介していく。

＝履修の条件と学習の方法＝

講義形式を中心として進めるが、セッションを想定したワークショップも行う。講義では、オーディオや映像による臨床事例の紹介を含む。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認、音楽療法と子どもの領域
- 2回 知的発達遅滞について①
- 3回 知的発達遅滞について②
- 4回 発達過程とニーズを見極める
- 5回 学習障害、ダウン症について
- 6回 自閉症スペクトラム症候群について
- 7回 自閉症スペクトラム症候群と音楽療法
- 8回 臨床目標の書き方、練習
- 9回 セラピーの実施の流れについて、臨床的関係づくり
- 10回 聴覚障害、視覚障害について
- 11回 運動機能障害について
- 12回 グループ音楽療法①
- 13回 グループ音楽療法②
- 14回 「ミュージックチャイルド」
- 15回 まとめ
- 16回 期末テスト

＝成績評価の方法と評価の基準＝

- ・出席点（出席5点、欠席0点）で総合成績の30% 反映させる。
- ・レポートを3回提出する。内容を1～10点で評価し総合成績の30%に反映させる。
- ・期末テストの成績は総合点の40%とする。

＝テキスト（必携）＝

書籍名：音楽療法入門 I
 著者名：デイビス 他（著）栗林文雄（訳）
 出版社：一麦出版社

書籍名：音楽療法入門 II
 著者名：デイビス 他（著）栗林文雄（訳）

出版社：一麦出版社

書籍名：音楽療法入門 III

著者名：デイビス 他（著）廣川恵理（訳）

出版社：一麦出版社

その他必要な資料は授業内で配布する。